

報道関係者各位

「岡野博展」開催のお知らせ

～100号の新作を含む約50点。雄大な自然を描く独特の世界観に注目～

期間： 2015年5月9日(土)～5月29日(日)

※初日には「岡野博画集」発行記念パーティーも開催予定です。

時間： 期間中無休 平日 10:00～19:00 土日祝 11:00～18:00

場所： 東京都中央区銀座5-1-7 数寄屋橋ビル3F 銀座柳画廊

この度、上記の日程で銀座柳画廊では美しい色彩と雄大な自然が特徴的な岡野博先生の個展を開催する事になりました。

1998年より定期的に銀座柳画廊で開催させて頂いている岡野博先生の展覧会は、今回で8回目となります。時を追うごとに、より奥行きと広がりをもせる岡野作品には沢山の方が魅了されております。新作・油彩画・パステル画を中心に50余点を展示致します。特に100号のスケールの大きい作品は、間近でご覧頂くとも一層その迫りに圧倒されます。

今回は、より多くの方にご来場頂きたいと思い、皆様にご周知させて頂きました。さらに、弊社スタッフの池澤が今回の展覧会の魅力をお伝えするべく、特集記事を作成させて頂きましたので、是非、媒体等にご活用頂けないかと存じます。

ご不明な点・ご相談等ございましたらお気軽に下記宛先までご連絡下さいませ。

何卒よろしくお願い申し上げます。

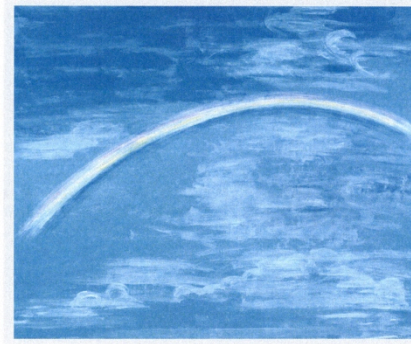
*****この件に関するお問い合わせ先*****

株式会社 銀座柳画廊 東京都中央区銀座5-1-7 数寄屋橋ビル3F

担当：池澤 美樹

TEL: 03-3573-7075 FAX: 03-3573-7076

E-mail: yanagi02@yanagi.com



岡野博「虹のかけ橋」2014年
100F、130.03×162.1cm



岡野博「静かな風景」2014年
50P、116.7×80.3cm

「できるだけ心からっぽにすること。」——

今回の展覧会と同時に発行される画集の帯にも使われている岡野博先生のフレーズはまさに、先生の生き方を表しており、それは作品にも表現されている。のびやかな筆使いと清々しい色彩は豊かな生命感を感じさせ、見るものを魅了させる。

岡野博先生は1949年広島県尾道市生まれ。小さい時から絵が大好きだった岡野少年は、小学6年生の時に両親から油絵の具セットを買ってもらい、生まれて初めて手にする油絵の具という素材の感触に、驚きと喜びを感じたそうだ。その後、武蔵野美術大学へ進学し、在学中にニコラ・ド・スタール(露、1914-1955)に感銘を受け、その想いは西洋へと向かう。1974年に渡仏し、フランス国立裝飾美術学校で壁画を学ぶ。初期の作品は今と比べると色彩が暗色で、当時のわだかまりや苦悩を表しているようにもみえるが、それは岡野先生が語る「西洋と日本」「自然と自分」という、画家としての人生における二つの大きな問いかけを早くも意識し始めていたからかもしれない。1978年に20代で個展を開催するという夢を実現した後、各ギャラリーに引っぱりだことなっていく。1986年に帰国し、現在は千葉県に住んでいる。

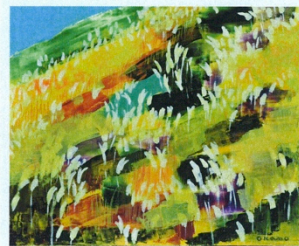
目の前に広がる光景と、自分という存在との間にある葛藤の中で、岡野博先生は「心からっぽにして」自然と調和する方法を見出した。それはしっかりと物事を見据えると同時に、ゆったりと自然の流れに身をまかせるような、そんな日本に昔ながらに根づく「禅」の思想をも感じさせる。心の奥行きを感じさせる岡野作品の数々は、我々に自由な心の在り方を問いかける。是非一度、岡野先生の世界を体験して頂きたい。

「岡野博展」銀座柳画廊にて開催(5/9～5/29 期間中無休)

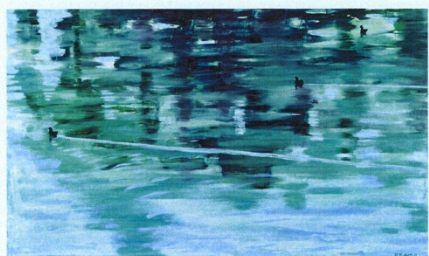
<参考資料>



岡野博『花いかだ』2014年
100F、162.0×130.3cm



岡野博『すすき』2014年
12F、60.6×50.0cm



岡野博『愛すべき鳥たち』2014年
100M、162.0×97.0cm

【200文字以内】

「できるだけ心からっぽにすること。」—— 今回の展覧会と同時に発行される画集の帯にも使われている岡野博先生のフレーズはまさに、先生の生き方を表しており、それは作品にも表現されている。心の奥行きを感じさせる岡野作品の数々は、我々に自由な心の在り方を問いかける。是非一度、岡野先生の世界を体験して頂きたい。

「岡野博展」銀座柳画廊にて開催 (5/9～5/29 期間中無休)

【500文字以内】

「できるだけ心からっぽにすること。」—— 今回の展覧会と同時に発行される画集の帯にも使われる岡野博先生のフレーズはまさに、先生の生き方を表している。のびやかな筆使いと清々しい色彩は、豊かな生命感を感じさせ、見るものを魅了させる。

岡野博先生は1949年広島県尾道市生まれ。小さい時から絵が大好きだった岡野少年は、小学6年生の時に両親から油絵の具セットを買ってもらい、生まれて初めて手にする油絵の具という素材の感触に、驚きと喜びを感じたそうだ。1974年に渡仏し、「西洋と日本」「自然と自分」という画家としての人生における二つの大きな問いかけを意識し始める。1978年に20代で個展を開催するという夢を実現した後、各ギャラリーに引っぱりだことなる。1986年に帰国し、現在は千葉県在住。

岡野博先生の作品は物事を見据えると同時に、ゆったりと自然の流れに身をまかせるような、そんな日本に昔ながらに根付く「禪」の思想をも感じさせる。心の奥行きを感じさせる岡野作品の数々は、我々に自由な心の在り方を問いかける。是非一度、岡野先生の世界を体験して頂きたい。「岡野博展」銀座柳画廊にて開催 (5/9～5/29 期間中無休)



『岡野博画集』

掲載作品：126点 総ページ数：142ページ
カラー113ページ 制作：株式会社銀座柳画廊
作品撮影：株式会社タケミアートフォトス
寄稿：栗津則雄 翻訳：原宣一

4,860円 (送料・税込)

YANAGI GALLERY NEWS 2015

「岡野博画集」先行予約受付中！！

銀座柳画廊では、5月9日に発売される岡野博先生の画集の予約受付を開始しました。初期の作品から現在の作品まで126点を掲載した充実した内容となっております。なんと今回先行予約頂いた方のみ「岡野博2015年度作品集」(通常価格1,500円)を無料で同梱致します。岡野博先生の世界をじっくり堪能できる、この機会を是非お見逃しなく！！